

試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

# 至学館大学

## 2026年度 学校推薦型選抜 公募制一般推薦入試前期 (11/8)

国 語

### 〈注意事項〉

- 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
  - 受験番号欄  
受験番号（数字及び英字）を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。  
正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
  - 氏名欄  
氏名を記入しなさい。
  - 解答科目欄  
解答する科目名の左の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 試験時間は60分です。
- この問題冊子は、16ページあります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように問題番号10の解答記入欄の③にマークしなさい。

問題 番号	解 答 記 入 欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 不正行為について
  - 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
  - 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退出させます。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 国語 公募制一般推薦入試（前期）1日目

第1問 次の文章を読み、後の問い（問1～問8）に答えよ。（文章は設問の関係から一部変更している）

新渡戸（注1）は『武士道』という本を通じて、日本人の（ア）リンリを英語で英語圏の人々に「説明」するために感動的な努力をします。義・勇・仁・礼・誠・名誉・忠義・克己・切腹などについて新渡戸は縷々記すのですが、（1）この本を読んだ英語話者たちが「武士道」についてどこまで理解を深めたのか、私にはわかりません。義勇や名誉忠義などは西欧世界にも類例のものがありま  
すから、それとの類比で、欧米と同様のものが日本にもあるという論が成り立ちますけど、武士道を真に日本（イ）コユウのものたらしめている点、欧米には類比すべきものがない要素については、新渡戸の言葉も及んでいないのではないかと思います。

新渡戸によれば、武士道が武士階級から平民たちに流下し、「全人民に対する道徳的（ウ）ヒョウジュン」となったとき、それは「大和魂」と呼ばれます。

『大和魂』は遂に島帝国の民族精神を表現するに至った。（2）もし宗教なるものは、マシュー・アールノルドの定義したごとく『情緒によって感動されたる道徳』に過ぎずとせば、武士道に勝りて宗教の列に加わるべき資格のある倫理体系は稀である。本居宣長（注2）が

敷島の（注3）大和心を人間はば朝日に匂ふ山桜花

と詠じた時、（3）彼は我が国民の無言の言をば表現したのである。」

（4）新渡戸は武士道の神髓を「山桜花」の審美的なたたずまいに託して筆を擱いて（注4）しまいます。それは結局「匂い」なのです。場を領する「空気」なのです。

（5）同じような断念は、例えば徳川家康の殺害を企てた二人の少年の咎に（エ）レンザした八歳の弟八磨の、切腹の場でのふるまいを叙する章でも示されています。

幼くて切腹の作法を知らない弟が「(a) ついぞ切腹を見たることなければ、兄のなさん様を見て己れもこれに倣わん」と言うのと、兄二人は A 涙ながらに微笑み、「いみじくも申したり、(b) 健気の稚児や」とみごとに腹かつさばいて B 切腹の見本を見せると、弟は「兄のなす様を見、兩人の共に息絶ゆるや、静かに肌を脱ぎて、左右より教えられしごとく C 物の見事に腹切り了った。」

この幼子は別に徳川家康に害意があつたわけでもありませんし、(オ) シュウゲキに加わつてもありません。けれども、兄弟と同じ運命をたどることを従容として (注5) 受け容れます。 D 場の親密性を優先するためには、どうして自分が死ななければならぬのか、なぜ罪なくしてこのような (カ) ザンギャクで不合理な罰を受けなければならないのかについて E 主題的に問うことをしない。静かに「空気」に従うのです。

このような風儀 (注6) が存在することは伝えられても、それが「善し」とされる理路を新渡戸は英語圏の読者にうまく伝えることができたでしょうか。私は困難だろうと思います。それは「朝日に匂う山桜花」についても、幼子八磨の自死についても、(6) 筆写している新渡戸稲造自身が自分の引用に感動しているからです。 (内田樹『日本辺境論』)

(注1) 新渡戸：明治時代後半から昭和初期の教育者・思想家である新渡戸稲造のこと。代表的著作である『武士道』は英文で書かれたため、日本国内より欧米における反響の方が大きかった。

(注2) 本居宣長：江戸時代の学者で、儒教や仏教が渡来する前の古代日本の精神を研究対象とする国学の第一人者。

(注3) 敷島の…「大和」にかかる枕詞。

(注4) 擱いて…「置いて」に同じ。

(注5) 従容として…「落ちついた様子で」の意。

(注6) 風儀…ここでは「作法」の意。

問1 文中の(ア)～(カ)はすべて二字熟語であるが、「上の漢字」と同じ漢字が使用されている熟語と、「下の漢字」と同じ漢字が使用されている熟語を記号で選択した場合、その記号の組合せとして正しいものはどれか。後の【共通選択肢】①～⑥からそれぞれ一つずつ選べ。

(ア) リンリ・……問題番号 1

〈上の漢字〉「リン」 ↓ (a) 車リン (b) 善リン (c) 人リン<sup>じん</sup>  
 〈下の漢字〉「リ」 ↓ (a) 代リ (b) リ潤 (c) リ歴

(イ) コユウ・……問題番号 2

〈上の漢字〉「コ」 ↓ (a) コ辞 (b) コ称 (c) 縁コ  
 〈下の漢字〉「ユウ」 ↓ (a) 座ユウ (b) ユウ致 (c) 占ユウ

(ウ) ヒョウジュン・……問題番号 3

〈上の漢字〉「ヒョウ」 ↓ (a) 批ヒョウ (b) 座ヒョウ (c) 公ヒョウ  
 〈下の漢字〉「ジュン」 ↓ (a) 矛ジュン (b) ジュン粹 (c) ジュン抛

(エ) レンザ・……問題番号 4

〈上の漢字〉「レン」 ↓ (a) レン習 (b) レン愛 (c) レン続  
 〈下の漢字〉「ザ」 ↓ (a) ザ折 (b) ザ席 (c) ザ傷

(オ) シュウゲキ・……問題番号 5

〈上の漢字〉「シュウ」 ↓ (a) 哀シュウ (b) シュウ悪 (c) 世シュウ  
 〈下の漢字〉「ゲキ」 ↓ (a) 打ゲキ (b) 感ゲキ (c) ゲキ場

(カ) ザンギヤク

問題番号

6

〈上の漢字〉「ザン」 ↓ (a) ザン定 (b) ザン存ぞん (c) ザン新  
〈下の漢字〉「ギヤク」 ↓ (a) ギヤク上 (b) ギヤク流 (c) ギヤク待

【共通選択肢】

- ① 〈上の漢字〉が(a)、〈下の漢字〉が(b)
- ② 〈上の漢字〉が(a)、〈下の漢字〉が(c)
- ③ 〈上の漢字〉が(b)、〈下の漢字〉が(a)
- ④ 〈上の漢字〉が(b)、〈下の漢字〉が(c)
- ⑤ 〈上の漢字〉が(c)、〈下の漢字〉が(a)
- ⑥ 〈上の漢字〉が(c)、〈下の漢字〉が(b)

問2 文中の傍線部<sup>(1)</sup>「この本を読んだ英語話者たちが「武士道」についてどこまで理解を深めたのか、私にはわかりません」という表現からは、筆者のどのような心情を読み取るのが妥当か。最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 7

① 英語圏の人々が武士道のすべてについて理解を深めたとは考えにくい、そのことは証明できることでもなく、自分としては「わかりません」と書くしかない、という心情。

② 英語圏の人々にとって、義勇や名誉忠義以外の「仁・礼・誠・克己・切腹」などは理解できるはずはなく、どうしてこのような概念まで彼らに紹介しようとしたのか理解に苦しむ、という心情。

③ 新渡戸は武士道を真に日本コユウのものたらしめていくつかの点について縷々記しているが、その記述があまりにも細かすぎて英語圏の人々にはとても理解できないだろう、という心情。

④ 『武士道』は英語で書かれており、その点では英語圏の人々にとって理解しやすいが、一方で感動的な表現が多く含まれていることが読者の理解を阻んでいるのではないか、という心情。

⑤ 武士道については、西欧世界にも類例のものがあり、新渡戸が英語で説明を加えなくても、一定数の英語圏の人々は理解することができるであろう、という心情。

問3 文中の傍線部<sup>(2)</sup>「もしが」にかかる文節あるいは連文節はどれか。最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 8

① 宗教なるものは                      ② 情緒によって

④ 加わるべき                              ⑤ 稀である

問4 文中の傍線部<sup>(3)</sup> 彼は我が国民の無言の言をば表現したのである。とあるが、どういふことを言っているのか。最も適当な

ものを次の①～⑤から一つ選べ。なお、「をば」は「を」を強調した表現である。

問題番号 9

- ① 本居宣長は国学者には禁句の武士道的表現を用いてしまった、ということ。
- ② 本居宣長は我が国の国民の民族精神を明確に表現したのである、ということ。
- ③ 本居宣長は「朝日に匂ふ山桜花」という前例のない表現を用いた、ということ。
- ④ 本居宣長は「人間はば」という仮定の問いかけに対して具体的に説明しなかった、ということ。
- ⑤ 本居宣長は武士道が全人民に行き渡っていることをはっきりと証明した、ということ。

問5 文中の傍線部<sup>(4)</sup> 新渡戸は武士道の神髄を「山桜花」の審美的なたたずまいに託して筆を擱いてしまいます。とあるが、どういふことを言っているのか。最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 10

- ① 新渡戸は武士道の神髄を説明することなく『武士道』の執筆を断念してしまった、ということ。
- ② 新渡戸は武士道の神髄を「匂い」と、場を領する「空気」だけで説明しようとしている、ということ。
- ③ 新渡戸は山桜花の美しい様子そのものが「大和心」なのだとする本居宣長を高く評価している、ということ。
- ④ 新渡戸は山桜花の美しい様子を提示することで武士道の神髄の説明をそれ以上行っていない、ということ。
- ⑤ 新渡戸は山桜花の美しい様子が武士道の神髄であることを示しえたことで満足してしまった、ということ。

問6 文中の傍線部(5) 同じような断念とあるが、二重傍線部A～Eのうち、同じことを言い表している表現はどれか。最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 11

- ① A 涙ながらに微笑み
- ② B 切腹の見本を見せる
- ③ C 物の見事に腹切り了った
- ④ D 場の親密性を優先する
- ⑤ E 主題的に問うことをしない

問7 文中の傍線部(a)・(b)のここでの意味の説明として正しいものを後の①～⑤から一つずつ選べ。

(a) ついぞ………問題番号 12

- ① 最後まで
- ② ついに
- ③ 一度も

(b) 健気………問題番号 13

- ① 勇ましい
- ② 子どもらしい
- ③ 大人らしい
- ④ 想定外の
- ⑤ 健全な

問8 文中の傍線部(6)筆写している新渡戸稲造自身が自分の引用に感動しているとあるが、どういふことを言っているのか。最も

も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 14

- ① 新渡戸は切腹の際の風儀の存在は伝えることができるが、幼子八麿の自死の理由については説明できない、ということ。
- ② 新渡戸は引用部分に感動しているが、それ以外の箇所が必ずしも感動に値するものであるかどうかは不明だ、ということ。
- ③ 新渡戸は本居宣長や幼子八麿のエピソードの感動を英語圏の読者に伝えることはできない、ということ。
- ④ 新渡戸は武士道の本質を筋道たてて説明せず、自分が感動したという事実を言っているまでだ、ということ。
- ⑤ 新渡戸は切腹の風儀を理路整然と説明してはいるが、それは英語圏の読者には伝わっていない、ということ。

第2問 次の文章を読み、後の問い（問1～問8）に答えよ。（文章は設問の関係から一部変更している）

コロナ禍前には、日本人ひとりひとはマスクについてはまったく自由だった。他人がマスクを着けようが着けまいが、それをあれこれ問題にするとか咎める人はいなかった。そもそもマスクはコロナ対策のためだけのものではない。マスクを着ける人にも、インフルエンザ予防のためとか、花粉症対策など、いろいろな理由があるし、<sup>(1)</sup>そのことについての皆の暗黙の了解があった。あの<sup>(ア)</sup>カンヨウさはどこに行ってしまったのだろうか？ **A** コロナ禍前の感覚に戻ればよいだけの話なのである。マスクについてのルールとか、マスクについての議論などやめてしまった方がましである。

2020年からマスク着用を中途半端にルール化してしまったことよって発生したのが、まったく自発的な「マスク警察」であった。コロナの感染予防にマスクが有効だと信じられていたときには、公共交通機関や公共の場でマスク着用が要請されていたのは仕方なかったにせよ、ただの一人人なのに、マスクを着けていない他人を咎めつるし上げる人々が結構いた。そういう人々の背中を押したのが、「同調圧力」と「要請」という、政府が責任を負わずにすむような自生的なルールだったのである。「マスク警察」はマスクを着けていない人々を見つけては責め立て、それが原因の揉め事で<sup>(イ)</sup>シンコクな傷害事件まで起こったほどだ。

①

そしてマスク着用が、理由も明らかにされず突然「個人の判断」となった今日、かつての恨みを晴らしたい人々なのか、<sup>(2)</sup>案の定「マスクするな警察」が出現している。 **B** 結構発言力のある著名人にこういう人々が見られるのだ。 ②

もともと反マスクの考えをもっている有名な作家のエピソードである。その彼が、2023年2月のある日に、「日だまりの老夫婦。なぜマスクをしているのだろう？ 不思議の国・日本」との文章と共に、マスク姿の高齢夫婦（ちなみに作家はその夫婦が誰だか分からないと言っている）の写真をSNSに投稿した。文章はさらに続き、「やはりマスクは不自然で変ですよね」と<sup>(ウ)</sup>呟いている。彼の投稿の趣旨は<sup>(a)</sup>件の高齢夫婦を責めることではなく、感染症の専門医が恐怖を煽り続けることや政府がコロナの5類移行（注1）にもたついていたことへの批判で締めくくられている。 ③

しかしそれなら、C 彼の知己でもない高齢夫婦の写真を無断で撮り、「マスク姿が不自然」と (b) 揶揄するコメントをつけて世界に晒す必要はなかったのではないか？ この時期はまだ政府が「マスクは個人の判断で」と明言していなかった時期でもあるし、コロナに不安を抱く高齢者がマスクを着けようが、それは個人の選択の自由であろう。しかも夫婦はこの作家に何ら迷惑をかけている訳ではない。ふたりはひよつとしたらインフルエンザや花粉症対策など、他の理由のためにマスクを着けていたのかもしれない。それらの可能性も想像すらせず、(c) あたかも「不思議の国・日本」の象徴であるかのように、何の罪もない一般夫婦の画像を晒すとは、(3) 何と配慮がないのだろうと感じた。

突然理由も示されず、「マスクは個人の判断で」と政府の呼びかけが転換されるやいなや、今度は「反マスク派」の中でも過激な人々が、自分の判断でマスクを着けている人々に対して、自分がかつて受けた嫌な仕打ちを与えているということに気づかないのだろうか。外国人の視線がそんなに気になる？ ④

「反マスク」の人々は、この期に及んでもマスクを着けている人々が全て「同調圧力」によってそうしていると思いついでいる。だが何度も言うが、マスクを着ける人々もそれぞれの自己判断で着けているのだ。皆が皆「同調圧力」のゆえではない。花粉症がつかいから、インフルエンザに罹らないために、風邪気味で咳やくしゃみが出るから、気管支が弱いから、などそれぞれの理由でマスクを着けている。有名な芸能人なんて街を歩くと顔バレするからマスクを着けるなんてことはコロナ前からあっただろう。

だいたい「さっさとマスクを外せ」と攻撃的に主張する人々の論拠を見ると、大抵が「外国人に嗤われる」という、国際的な世間体である。 ⑤

かの作家は「脱マスク」を呼びかけていたが、そこで呟かれたことは「外国から1年半ぶりに帰国した知人が、まだ日本人はマスクをしている、と驚いてました。日本人は世界を知らず取り残されている」というものだった。

彼以外にも「外国ではマスクはやめている」ことを理由に、マスクを着ける日本人を攻撃する主張がちらほら見られた。だが (4) こういう議論こそ、外国人の目を気にして日本人の行動を強引に改めさせようという卑屈な考え方であり、その意味では世界的な「脱マスク」の同調圧力に押されているのだ。いつでも欧米諸国のやり方の方が絶対に正しいのか？ 大谷翔平選手（注2）が

グラウンドのゴミを拾うことは、ゴミを放置することより、アットウ的に間違っているというのだろうか？

(住吉雅美『ルールはそもそも何のためにあるのか』)

(注1) コロナの5類移行…わが国では、感染症を重症度など危険度の高い順に1から5段階に分類している。当初2類相当としていた新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から「5類感染症」となり、対応として、一律に日常における基本的感染対策を求めることはない。陽性者及び濃厚接触者の外出自粛は求められなくなる。幅広い医療機関において受診可能になる。などの変更が加えられた。

(注2) 大谷翔平選手…岩手県出身。アメリカ合衆国のプロ野球メジャーリーグ「ロサンゼルス・ドジャース」に所属。近代野球では極めて珍しい投手、打者のいわゆる「二刀流」で活躍している。

問1 文中の傍線部<sup>(1)</sup> そのことについての皆の暗黙の了解があったの説明として、最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 15

- ① コロナ禍以前の日本人は、相応の理由があればマスクを着けることを問題にしたり咎めたりしなかった。
- ② コロナ禍以前の日本人は、着ける必要があってもマスクを着けない人を問題にしたり咎めたりしなかった。
- ③ コロナ禍以前の日本人は、マスクを着けるか否かについて他人に言われなくても主体的に決めることが許された。
- ④ コロナ禍以前の日本人は、新型コロナウイルス感染症以外の病気対策などでもマスクを着けることを黙認していた。
- ⑤ コロナ禍以前の日本人は、病気など必要があれば、他人に言われなくとも積極的にマスクを着ける習慣があった。

問2 文中の空欄 A ～ C に入れるのに最も適当な語はどれか。次の①～⑨の中から一つずつ選べ。

A ..... 問題番号 16

B ..... 問題番号 17

C ..... 問題番号 18

- |         |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|
| ① しかも   | ② ところが | ③ むしろ  | ④ たとえば |
| ⑤ ようするに | ⑥ まもなく | ⑦ きわめて | ⑧ わざわざ |
| ⑨ ちなみに  | ⑩ なぜなら |        |        |

問3 文中の傍線部(ア)～(ウ)のカタカナを漢字に直したとき同じ漢字を用いるのはどれか。後の①～⑤から一つずつ選べ。

(ア) カンヨウ ..... 問題番号 19

- ① カンプなきまでにたたきのめす。
- ② 健康のためにカンブ摩擦を行う。
- ③ 被告人に対してカンダイな措置を行う。
- ④ 語学を身につけるには反復練習がカンヨウだ。
- ⑤ 確定申告によってカンブ金を受ける。

(イ) シンコク ..... 問題番号 20

- ① シンエンな内容の講義に聴き入った。
- ② 人権をシンガイする発言を批難する。
- ③ 事件のシンソウが明らかになった。
- ④ 過去のシンクが今の彼を支えている。
- ⑤ 長年の実績によりシンニンを得た。

(ウ) アットウ ..... 問題番号 21

- ① 一騎トウセンの大活躍をした。
- ② 一族ロウトウを結集した戦いが始まる。
- ③ 地震による家屋トウカイの恐れがある。
- ④ 病により人工トウセキの必要が生じる。
- ⑤ 大雪のため列車のトウチャクが遅れる。

問4 文中の空欄 ① ⑤ のいずれかに次の一文が入る。この一文が入る最も適当な箇所を、

空欄の番号①～⑤から一つ選べ。 問題番号 22

事情があつてマスクを着けたくない人にとっては暗黒時代だったであろう。

問5 文中の傍線部(2)案の定「マスクするな警察」が出現しているとはどういうことか。最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 23

- ① 思っていたことではあるが、日本人はもともと他人がマスクを着けようが着けまいが問題にしないので、逆にマスクを着けたがる人をつるし上げる人が出てきている。
- ② 予想していたとおり、同調圧力や政府のマスク着用の要請への反発からか、着用が「個人の判断」になった途端、逆にマスクをする人を理由にかかわらずつるし上げる人が現れるようになっていく。
- ③ 心配してはいたのだが、マスク着用を科学的な根拠もなくルール化してしまったことよって発生した「マスク警察」に対する反動からか、コロナを理由にマスクをする人をつるし上げる人が現れるようになっていく。
- ④ 予想以上の速さで、日本人の「同調圧力」を利用してマスク着用を中途半端にルール化した政府への反発が広がり、逆にマスクをする人をつるし上げる人が現れるようになっていく。
- ⑤ 想定内だったことは、そもそもマスクはコロナ対策のためだけのものではなく、様々な理由があるため、逆にコロナだけを理由にマスクを着けている人をつるし上げる人が出てきている。

問 6 文中の傍線部(a)～(c)の意味として正しいものを後の①～⑤から一つずつ選べ。

(a) 件の………問題番号 24

① 前述の

② 被害にあった

③ 原因となった

④ その場にいた

⑤ 問題を起こした

(b) 揶揄する………問題番号 25

① 批判する

② からかう

③ 苦言を呈する

④ 摘発する

⑤ 問題視する

(c) あたかも………問題番号 26

① おそらく

② かならずしも

③ たとえていえば

④ ちょうど

⑤ とうてい

問7 文中の傍線部<sup>(3)</sup> 何と配慮がないのだろうについて説明したもののうち、適当でないものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 27

- ① 専門医や日本政府を批判したいがために、見ず知らずの高齢夫婦のマスク姿を勝手に世界に晒してしまったこと。
- ② 着用する理由も定かでない高齢夫婦の「マスク姿が不自然」だとして、無断で写真を世界に晒してしまったこと。
- ③ 日本政府が「マスクは個人の判断で」と明言する前なのに、高齢夫婦の「マスク姿が不自然」だと決めつけたこと。
- ④ 日本政府の施策や専門医の言動を批判するために、彼らとは全く無関係のコロナに不安を抱く高齢夫婦を利用したこと。
- ⑤ コロナ対策以外にマスク着用の理由を想像もせず、高齢夫婦の写真を「不思議の国・日本」の象徴として晒したこと。

問8 文中の傍線部<sup>(4)</sup> こついう議論の説明として最も適当なものを、次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 28

- ① 何の罪もない見ず知らずの一般夫婦がマスクを着用することと日本の同調圧力の不思議さを同列に扱って世界に発信し、「反マスク」を主張すること。
- ② 個人の判断や事情も認めずマスク着用の理由すべてが同調圧力であるとの思い込みに加え、外国に対する世間体ばかりを意識して「反マスク」を主張すること。
- ③ 外国人の視線を気にしたり同調圧力に負けたりしてマスクを着けていたのに、政府の方針転換を機に今までの仕返しとばかりに「反マスク」を主張すること。
- ④ 一足先に「脱マスク」の法整備が確立した諸外国に後れを取るまいと過剰に反応し、日本の主体性を誇示したいばかりに「反マスク」を訴えること。
- ⑤ 日ごろの諸外国における施策や動向に対する劣等感を認めたくないあまり、過激な言動で日本を批判し、強引な態度で主張を押し通そうとすること。

試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

# 至学館大学

## 2026年度 学校推薦型選抜 公募制一般推薦入試前期 (11/9)

### 国 語

#### 〈注意事項〉

- 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
  - 受験番号欄  
受験番号（数字及び英字）を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。  
正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
  - 氏名欄  
氏名を記入しなさい。
  - 解答科目欄  
解答する科目名の左の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 試験時間は60分です。
- この問題冊子は、16ページあります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように問題番号10の解答記入欄の③にマークしなさい。

問題 番号	解 答 記 入 欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 不正行為について
  - 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
  - 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退出させます。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

## 国語 公募制一般推薦入試（前期） 2日目

第1問 次の文章を読み、後の問い（問1～問9）に答えよ。（文章は設問の関係から一部変更している）

ミーティングとは何だろうか、考え出したのは、一九九〇年前後にギャンブル症の治療を始めて十年ほどが経ったときです。ギャンブル症の治療には自助グループのミーティングが有効だとは聞かされても、当初は本当に効くのかなと半信半疑でした。しかし患者さんたちが回復していく姿を見続けるに従い、これは本当だと確信するようになったのです。

次に湧いた疑問は、このミーティングのどこが有効なのかでした。自助グループのミーティングは当事者が中心ですから、私たち医療従事者は、そのミーティングを見学するのみです。最後に感想を求められることはあっても、議論に参加はしません。

こうして単科精神病院で十八年、メンタルクリニックを開業して十七年、ギャンブル症の治療に関与して、もう三十五年以上が過ぎました。その間に診たギャンブル症の患者さんとその家族は、優に千人を超えます。

この病気は実に厄介で、病気になるのはいとも簡単なのに、そこからの回復は大変な手間暇がかかります。ギャンブル症者は、例外なく三ザル状態になっています。いわゆる見ザル、聞かザル、言わザルです。自分の病気が見えない、他人の助言を聞かない、自分の考えを言わない、のです。

もうひとつ、三だけ主義にもなっています。自分だけよければいい、金だけあればいい、今だけよければいい、という主義です。家族への愛情など知ったことか、友情や道徳よりも大切なのは金だ、将来のことなどどうでもいい、今さえよければいい、という恐ろしい人間になります。

ギャンブル症者に犯罪がつきものなのも、そのためなのです。妻の財布からお札を抜くのは序の口で、子供の貯金も盗みます。家財も売り払うか、質屋に入れて、<sup>(ア)</sup>カンキンします。同僚からの窃盗、職場での横領や、詐欺、闇バイトでの強盗など、<sup>(イ)</sup>マイキヨすればきりがありません。

このように人間性を喪失してしまった人たちが、ミーティングによって立ち直る姿を見るたびに、驚かされました。何の薬も使わず、世に過大評価されているカウンセリングとてしていません。唯一、ギャンブル症者を回復させているのはミーティングです。

た。

このミーティングを隅のほうで、聞かせてもらう間に、通常の会議とは異なる特殊な構造に気づいたのは世紀が変わる頃でした。自助グループのミーティングには、ありきたりな会議につきものの討議がないのです。結論ありません。当事者はそこに参集し、他のメンバーの話聞き、自分もしゃべって散会するだけなのです。

①

ミーティングが終わると、見学していた看護師やソーシャルワーカーは、「何かひと言」と進行役から訊かれます。A 例外なく、口を揃えて「感激しました」と答えます。それはそうでしょう。自分たちが毎日毎週嫌になるほど繰り返しているミーティングや会議とは、天と地ほども違うからです。日頃の病棟のミーティングで、感激することなど一切ないのが普通です。しかし、自助グループのミーティングには感銘を受けます。

②

この見学者を感動させ、当事者たちを(1)回復させる要因はこれではないかと、思い当たるようになったのは二〇一〇年頃です。その時期、オープン・ダイアログという治療法が精神科の治療に紹介されました。この治療法の起源はフィンランドの西ラップランドで、一九八〇年代から施行され、一九九〇年代半ばになると、精神病の危機にある人の治療法として確立されました。

③

オープン・ダイアログのBをいくつか絞ると、①対話は手段ではなく、それ自体が目的であり、治療はその副産物である、②対話の目的は、単純な合意や結論に至ることではなく、③参加者全員から多様な表現が生まれるのを重視する、です。

④

実際には、精神病の危機が解消するまで、治療チームはその人のもとに毎日でも赴き、対話を重ねます。そうするうちに、いつの間にか精神の危機にある人が、危機を脱するというのです。

⑤

このオープン・ダイアログのCを知ったとき、これはどこかネガティブ・ケイパビリティと似た面があるなど、私は直感しました。ギャンブル症を回復させる自助グループのミーティングも、一種のネガティブ・ケイパビリティの発揮を必要とします。つまり、どこまでも、「答えの出ない事態に耐え」続ける必要があるからです。

ネガティブ・ケイパビリティとは、英国の詩人ジョン・キーツ（一七九五―一八二一）が一八一七年十二月、第二人に宛てた手紙の中で、たった一度書き記した概念です。性急に事実や理由を求めず、不確かさや不可思議さ、懐疑の中にいることができる能力を指します。これこそが詩人に求められる資質だと説きました。百五十年後、この概念に光をあてたのが、英国の精神科医ウィルフレッド・R・ビオン（一八九七―一九七九）でした。生身の人と人が接する精神療法の場において、治療者が保持しなければならぬのが、この能力だとしたのです。

実際にオープン・ダイアローグの[D]を検討すると、その要素のひとつに「ネガティブ・ケイパビリティ」が明示されていたので大いに得心しました。

(a) ひるがえって、私たちが小さい頃から親しんでいるミーティングや会議は、自助グループのミーティングやオープン・ダイアローグとは根本から違っていません。

私たち医療従事者が行っているミーティングも、型は決まっています。治療チームでは、患者さんひとりに対して、治療目標と治療計画を立て、日々それに沿った治療ができていくか検討します。問題が生じればまたミーティングを開き、新たな解決策を探ります。そして結論を出すのが通常です。

世の中で長い間、何気なく実施されている会議、ミーティングも似たようなものでしょう。まず討議事項が決定され、各自が意見を述べ合い、その集約がされます。最後に結論が出されて、散会です。

あるいは朝礼のように、「今週はこれを目的にやりましょう」というような上意下達のミーティングもあるかもしれません。これらのいずれもが、自助グループのミーティングやオープン・ダイアローグとは月と[E]ほどに違います。

（帚木蓬生『ほんとうの会議 ネガティブ・ケイパビリティの実践法』）

問1 文中の傍線部(ア)・(イ)を漢字に直したとき同じ漢字を用いるものはどれか。後の①～⑤から一つずつ選べ。

(ア) カンキン

- ① 事態をカンカする。
- ② カンシヨクに就く。
- ③ 情熱をカンキする。
- ④ 窓を開けカンキする。
- ⑤ カンセイがあがる。

問題番号

1

(イ) マイキヨ

- ① キヨシヨクに彩られる。
- ② キヨダクを受ける。
- ③ キヨゼツされて落ち込む。
- ④ キヨシユウが案じられる。
- ⑤ キヨドウが不審である。

問題番号

2

問2 文中の空欄 A に入る最も適当なものを、次の①～⑤から一つ選べ。

- ① すると
- ② だが
- ③ つまり
- ④ ところで
- ⑤ また

問題番号

3

問3 文中の傍線部(1)回復させる要因の説明として、最も適当なものを、次の①～⑤から一つ選べ。

- ① 当事者が回復するための対話によって、当事者から多様な表現が生まれること。
- ② 当事者が回復するまで毎日毎週ミーティングを繰り返して対話を行うこと。
- ③ 当事者が回復するまで他のメンバーの話を聞くミーティングを毎日毎週繰り返すこと。
- ④ 当事者が回復するまで治療チームがメンバーと毎日対話を重ねていること。
- ⑤ 当事者が回復するため治療チームは対話での多様な表現が生まれるのを重視すること。

問題番号

4

問4 文中の傍線部(2) 不確かさや不可思議さ、懐疑の中にいることができる能力の説明として、最も適当なものを、次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号

5

- ① 何らかの合意や結論などの答えの出ない状態に耐え続ける能力。
- ② 何らかの合意や結論などの答えが出るまでの状態に耐える能力。
- ③ 事実や理由を性急に求めることなく合意や結論などを出せる能力。
- ④ 事実や理由を性急に求めることなく対話を行うことができる能力。
- ⑤ 事実や理由を性急に求めることなく多様な表現を生み出せる能力。

問5 文中の傍線部(a) ひるがえってを用いた例文のうち、適当でないものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号

6

- ① 世界の給与水準は毎年増額しているが、ひるがえって我が国の給与水準はずっと変わらない。
- ② 彼の率直な発言から対立してしまったが、ひるがえってみると自分にも落ち度はあった。
- ③ 公園は楽しそうな人々であふれているが、ひるがえって物価はとても高くなってきた。
- ④ 転職しやすさは社会の流動性としてよいが、ひるがえって考えると専門性の継承ができるかどうか心配である。
- ⑤ 食品添加物には保存性のメリットはあるが、ひるがえって考えると病気のリスクもある。

問6 文中の空欄 B ～ D にあてはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑥から一つ選べ。

問題番号 7

- ① B…概念 C…技法 D…要点
- ② B…概念 C…要点 D…技法
- ③ B…技法 C…概念 D…要点
- ④ B…技法 C…要点 D…概念
- ⑤ B…要点 C…概念 D…技法
- ⑥ B…要点 C…技法 D…概念

問7 文中の空欄 E に入る最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

問題番号 8

- ① うさぎ
- ② かえる
- ③ すっぽん
- ④ たぬき
- ⑤ へび

問8 文中の空欄 ① ～ ⑤ のいずれかに次の一文が入る。この一文が入る最も適当な箇所を、

問題番号 9

空欄の番号①～⑤から一つ選べ。

掛け値なしの「言いつ放し、聞きつ放し」です。

問9

本文について述べた次の①～⑤の中で、**適当でないもの**を一つ選べ。

問題番号

10

- ① ギャンブル症者は、三ザル主義になる上に、三だけ主義にもなっているために、犯罪をする者が多い。
- ② ギャンブル症の治療に有効なミーティングとは違って、伝達確認で行うミーティングでは事実や結論が出される。
- ③ 治療のためのオープン・ダイアログは、対話が目的で合意を出すことより参加者全員の多様な発言を重視している。
- ④ 英国の精神科医ウィルフレッドは、精神療法の治療者にはネガティブ・ケイパビリティの能力が必要であると考えた。
- ⑤ 世の中で長い間、実施されているミーティングや会議は、自助グループのミーティングとは根本的に違っている。

第2問 次の〔文章Ⅰ〕〔文章Ⅱ〕は、バッタの研究者である筆者がアフリカのモーリタニアで体験した記録である。二つの文章を読み、後の問い（問1～問9）に答えよ。（文章は設問の関係から一部変更している）

〔文章Ⅰ〕殺虫剤のドラム缶を積んだ防除部隊が先導した先には、これまで見た群れの中でも最大級のものが大地を覆っていた。こちらのエリアまで防除の手が回らなかつたため、小さい群れがどんどん合流し、ここまで大きくなったのだろう。

これから目の前で殺虫剤の撒布を<sup>ア</sup>ヒロウしてくれるという。<sup>1)</sup>バッタが蹂躪<sup>じゅうりゃく</sup>されるシーンも喉から手が出るほど見てみたいが、その前に腰を据えてじっくりバッタの行動を観察したい。もし面白い発見ができれば、論文のネタになる。私たちは明日研究所に帰る予定なので、時間はたつぷりとある。日本に手ぶらで帰るわけにはいかないので、まずは成果をあげ、心の余裕を手に入れたい。

我がチームメイトにこのまま滞在を延長できるか聞くと、食料や燃料は多めに持ってきており、あと4日はもつとのことだ。チームメイトたちも明日以降の予定はしばらく空いており、帰ってから給料を支払うということで、ミッションの延長を承諾してくれた。

「こいつら殺すの待って！ 研究したいわ！」

勇姿を見せる気だった防除部隊に肩すかしをさせてしまい申し訳ないが、観察が終わり次第、速やかに防除するということを条件にOKをもらった。

目の前にいる大量のバッタは全部私のものだ。<sup>2)</sup>こんな贅<sup>ぜい</sup>沢なシチュエーションでどんな研究をしようか。これから2年間で行う予定の研究計画書はあらかじめ作成していたが、群生相の幼虫を研究する計画は含まれていない。日本では計画通りに研究を進めないと、遂行能力が欠如した「劣等生」の烙印<sup>らくいん</sup>を押されてしまう。だが、ここはアフリカだ。日本でやっていたように計画に縛られると、<sup>3)</sup>目の前の大切なものを逃してしまう。今回は、番外編として研究することにした。

予測が立たない研究課題に対しては「無計画」で臨んだほうが対応しやすそうだ。ただ、手当たり次第というのでは芸がない。

こだわりポイントとしては、実験室でもできるような研究ではなく、現場でしかできない、地の利を活かした研究を心がけること。まずは面白そうな現象がないか情報収集をすることにした。研究の本番までは、大群にはありのままの姿でいてもらいたい。なので、最大級の群れには近づかず、<sup>(4)</sup> まずは小規模の群れを使って、何か面白い研究テーマがないか探ることにした。

このエリアには主に3種類の植物が生えているが、孤独相は3種類中1種類の植物にだけ潜んでいた。ところが、群生相はこだわりなくどの植物にも群がっている。

近寄って観察しようとするとバッタは逃げるが、執拗にストリーキングを繰り返すうちに、大きく分けて2通りの逃げ方があることに気づいた。幼虫が群がっている植物に向かって歩いて行くと、彼らは跳びはねて外に逃げるか、その植物の中に逃げ込むか、どちらかなのだ。傾向として、群がっている植物が小さいと逃げ出し、大きいと植物の中に逃げ込む。後者の場合、植物を防御シエルターとして利用しているようだ。シエルターの質に応じて逃げ方を変えるのは<sup>(5)</sup> A に適っている。立て籠もる城が心許ないときは、城を見捨てて速やかに逃げ去り、一方、城が堅固なときは籠城する。<sup>(6)</sup> 戦国時代の戦いに通ずるものがある。傾向が見えてくると<sup>(7)</sup> 仮説がひらめく。

B

バッタを大量に<sup>(1)</sup> ホカクしたい私にとって、彼らに逃げられるのが悩みの種だ。今ここで彼らの逃げ方に関する情報を手に入れることができれば、今後の採集効率は飛躍的に向上するだろう。

よし決めた。バッタの逃げ方を研究しよう。

〔文章Ⅱ〕バッタの群れは海岸沿いを飛翔し続けていた。夕方、日の光に赤みが増した頃、風向きが変わり、大群が進路を変え、低空飛行で真正面から我々に向かって飛んできた。大群の渦の中に車もろとも巻き込まれる。翅音は悲鳴のように重苦しく大気を震わせ、耳元を不気味な轟音がかすめていく。

このときを待っていた。群れの暴走を食い止めるため、今こそ秘密兵器を繰り出すときだ。さっそうと作業着を脱ぎ捨て、緑色

の全身タイツに着替え、大群の前に躍り出る。

「さあ、むさぼり食うがよい」

バンザイをして群れの中に身を投じる。少年の頃に抱いたバツタに食べられたいという夢は、今や人類を救う可能性を秘めている。先頭のバツタが私を食べようと着陸すれば後続のバツタたちもつられて降りて来るに違いない。大群の暴走を止めることができるはずだ。

しかし、これは命懸けで一度きりになるかもしれない秘技だった。私は長年にわたる過剰なバツタとの触れ合いのおかげで、バツタアレルギーになっていた。バツタまみれになったら全身にじんましんが出て、ただでは済まされない。

それでも、私一人の痒みと引き換えに大群をとどめることができたならば、モリータニアは救われる。夢のため、人類のため、男は命を落とすことがわかっていても、勝負しなければならぬときがあるのだ。南無三！

決死の覚悟をよそに、バツタたちは私を素通りしていった。慰めるように数匹のバツタがツッコミ代わりに顔にぶつかってくる。なんて冷静なやつらだ。全身タイツが偽の植物だと見抜きやがった。

（前野ウルド浩太郎『バツタを倒しにアフリカへ』）

問1 文中の傍線部(ア)・(イ)を漢字に直したとき同じ漢字を用いるものはどれか。後の①～⑤から一つずつ選べ。

(ア) ヒロウ

問題番号

11

① ロウクをねぎらい感謝する。

② 声高く詩歌をロウエイする。

③ 旅のロギンが足りなくなる。

④ 砂上のロウカクだとあなどる。

⑤ 感情をしっかりとハツロする。

(イ) ホカク

問題番号

12

① 倉庫に銃をカクノウする。

② 事件のカクシンに触れる。

③ カクイツ的な回答をする。

④ 戦いで領土をカクトクする。

⑤ 文明社会からカクゼツした奥地。

問2 文中の傍線部<sup>(2)</sup>「こんな贅沢なシチュエーションとあるが、具体的にどのようなことか。最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。」

問題番号

13

- ① 防除部隊が、これから目の前で殺虫剤の撒布をヒロウしてくれること。
- ② 目の前にいる大量のバッタはもともと全部私のものであったこと。
- ③ これまで見た中でも最大級の群れを研究する機会が訪れたこと。
- ④ 観察が終わり次第、速やかにバッタを防除すればよいこと。
- ⑤ バッタの行動に関して面白い発見ができれば、論文のネタになること。

問3 文中の傍線部<sup>(3)</sup>「目の前の大切なもの」とあるが、具体的にどのようなものか。最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号

14

- ① 群生相のバッタの幼虫について研究すること。
- ② 予測が立たない研究課題に対し「無計画」で臨むこと。
- ③ 今回の研究は番外編として進めること。
- ④ 計画書通りに研究を進め、日本で評価されること。
- ⑤ 現場でしかできない、地の利を活かした研究を心がけること。

問 4 文中の傍線部(4) まずは小規模の群れを使ってとあるが、それはなぜか。最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 15

- ① まずは面白そうな現象がないか情報収集をしたから。
- ② 研究の本番まで大群をありのままにしておきたかったから。
- ③ 何か面白い研究テーマがないかを探ろうとしたから。
- ④ 予測の立たない研究課題でも手当たり次第というのでは芸がないから。
- ⑤ 孤独相は一種類だけだが、群生相はどの植物にも群がっていたから。

問 5 文中の傍線部(5) A に適っているとは、バッタの行動に筋が通っているという意味の表現である。空欄 A に入るべき最も適当な漢字一字を、次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 16

- ① 意
- ② 道
- ③ 機
- ④ 理
- ⑤ 時

問 6 文中の傍線部(6) 戦国時代の戦い方に通ずるとあるが、バッタに当てはめると具体的にどのようなことか。最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 17

- ① 執拗にストーキングを繰り返してバッタの生態を探ったこと。
- ② 植物を防御シエルターとして城のように利用していること。
- ③ 城が堅固なときは籠城して敵を防ぐ戦い方をする事。
- ④ 情報により採集効率を飛躍的に向上させ、バッタに勝つこと。
- ⑤ 群がっている植物の状況に応じて逃げ方を変えること。

問 7

文中の傍線部<sup>(7)</sup>「仮説がひらめくとあるが、空欄」にはバッタの行動傾向についての筆者の考えが入る。最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

B

問題番号

18

- ① 群生相の幼虫は群がっている植物に対し、跳びはねて外に逃げるか、その植物の中に逃げ込む。
- ② 群生相の幼虫と孤独相の幼虫では、逃げ方に違いがある。
- ③ 群生相の幼虫は、戦国時代の戦い方に通ずる臨機応変の能力がある。
- ④ 群生相の幼虫は群がっている植物の大きさに応じて逃げ方を変える。
- ⑤ 群生相の幼虫は、小さな植物を利用すれば容易に採集することができる。

問8 文中の傍線部(1)「バツタが蹂躪されるシーンも喉から手が出るほど見てみたい」とあるが、筆者のどのような心情が表れているか、学生a～eがそれぞれ意見を述べた。「文章I」の本文全体を踏まえ、最も適当なものを次の①～⑤から一つ選べ。

問題番号 19

学生a 筆者は、バツタの害に悩む住民たちに同情して、防除部隊の一員としてチームメイトとともに、バツタの撲滅を心から願っているんだね。

学生b それは違うわ。筆者はバツタに強い興味があつて、バツタのことなら何でも知りたいと思つているから、蹂躪されるシーンも見たいと言つただけよ。本当にバツタを殺したいわけではないわ。

学生c どちらも違うよ。筆者は冷静な研究者だから、バツタの良い面も悪い面も客観的に観察しようとしているのさ。研究対象に熱くのめり込んではいけなないと考えているからね。

学生d 私はみんなの中間的な意見よ。バツタは保護したいけれど、チームメイトである防除部隊の任務も尊重すべきだから、研究と防除を両立させるためにあえてこう言つたのよ。

学生e みんな違うよ。後のほうで筆者は、日本に手ぶらで帰るわけにはいかないと言っているじゃないか。このときは研究成果をあげて心の余裕を手に入れたいと、あせつていたんだよ。

- ① 学生a      ② 学生b      ③ 学生c      ④ 学生d      ⑤ 学生e

問9 「文章Ⅰ」「文章Ⅱ」の本文全体を踏まえ、バッタの研究に対する筆者の姿勢について、**適当でないもの**を次の①～⑤から

一つ選べ。

問題番号

20

- ① 人類を救う可能性を求め、バッタの群れの暴走を食い止めるために命を捨てる覚悟をしている。
- ② 研究だけでなくバッタとの触れ合いを楽しんでおり、ふざけて群れの中に飛び込む茶目っ気もある。
- ③ 実際の観察に基づいて仮説を立て、今後の研究活動に活用しようとしている。
- ④ 計画書に固執することなく臨機応変に研究テーマを変え、成果をあげようとしている。
- ⑤ 緑色のタイツで植物に偽装し、バッタの群れを自分のもとにおびき寄せようとしている。

第3問 次のア～オの□と組み合わせる四字熟語になるものを、後の①～⑤から一つずつ選べ。

ア	□	投合	……	問題番号	□
イ	言語	□	……	問題番号	□
ウ	□	剛健	……	問題番号	□
エ	□	無事	……	問題番号	□
オ	優柔	□	……	問題番号	□

- ① 不断
- ② 質実
- ③ 意気
- ④ 道断
- ⑤ 平穩